各常任委員会は、下記の分野の問題・課題について議論しています。
◎総務・産業常任委員会…総務、企画調整、税務、産業、商工観光、建設、上下水道
◎社会・文教常任委員会…町民、保健福祉、教育、消防

総務・産業常任委員会

ふるさと納税の状況について

ほぼ前年並みに推移しているとのことで、7月末現在で件数1，333件、金額で22，178，000円となっています。



▲ 令和３年７月末現在注文数Ｎｏ．１
【やわらか】煮たこ（約１．８ｋｇ）

広報誌の今後のあり方について

3月現在、様似町の世帯数が2，142世帯に対し1，873世帯が自治会加入しており、269世帯が未加入となっています。

今まで広報誌の配布方法については、自治会を通じて自治会加入者への配布と町内8事業所に配置してきたことから、自治会未入者には配布されてこなかった現状に有ります。

今後、自治会未加入者に対しても希望者には配布されるよう、まず希望者には自治会未加入者にも自治会からの配布ができないかお願いし、もし困難な場合は直接郵送等の対応をとることとなりました。

旧ソビラ荘の一部有償貸付について

トーホー工業株式会社より東部3町の漁業用発泡スチロールの保管場所として、借用申請が6月30日に出されていました。

トーホー工業株式会社は本社が大阪市で全国に工場15カ所、営業所33カ所、物流センター7カ所をもって、発砲スチロールの成型品製造及び販売と包装関連資材販売を行っている会社で、貸付内容は物件として旧ソビラ荘車庫と仮設物敷地として10．20平方メートルを物品等置き場として389．80平方メートル、期間は単年度貸付とし、今年度は令和3年7月14日から令和4年3月31日までと年額142，520円の9ヶ月分の106，840円で貸し付けることにしたとのことです。

当面の間は、事務所兼倉庫の建設用地を探しながら、旧ソビラを営業拠点として活動し、お盆明けからは配達・倉庫管理に係るスタッフの募集を行っているとのことです。



▲ 消防庁舎建設候補地
（西町第二団地跡）

消防庁舎建設について

建替えの場所を西町高台として提案されていますが、緊急出動における栄町以東へのタイムロスと下水道接続の必要性が出てくることから、コスト増になることと今後の人口の減少を踏まえ、現在予定している庁舎の建設費10億8，100万円と見込んでいるが、ローコストで実現できないか、またスポーツセンターの建替え予定がないことからスポーツセンターの場所が緊急出動に適しているのでないかなど、色々と協議をしております。

今後は避けて通れない人口減の中で、現実的な財政シミュレーションを横睨みで検討することとしております。

審議した案件

9月3日
◆様似共同作業所条例の一部を改正する条例の制定
◆様似町過疎地域持続的発展市町村計画（自令和3年度、至令和7年度）の策定
◆ふるさと納税の状況
◆広報誌の今後のあり方
◆旧ソビラ荘の一部有償貸付
◆令和3年度 水道配水管洗管作業結果
◆様似町過疎地域の持続的な発展の支援のための固定資産税の課税の特例に関する条例の制定
◆令和2年度様似町の健全化判断比率等
◆新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（事業者支援分）の追加交付
◆第9次様似町総合計画（消防庁舎建設）

以上、10件について審議。

社会・文教常任委員会

「様似型スクールランチ事業に係る指名型プロポーザル」について

6月定例会後、2回の常任委員会が開催され、第1回目は6月24日（木）定議会終了後に開催。案件は生涯学習課より「様似型スクールランチ事業に係る指名型プロポーザル」についてである。



▲ スクールランチの様子

最初に指名型プロポーザルとは、続いて指名型プロポーザルになった経過など、これまでの直近の状況について説明。その後「指名型プロポーザル実施要領」を説明。

①目的、②事業概要、③委託料の限度額、④参加資格要件、⑤スケジュールの予定等々14点の要領を説明。

委員からは、「アンケート結果においても賛成が80％を超えていると言うような、期待されている部分があり是非積極的に進めてほしい。」又、他の委員からは、「この様似型スクールランチはいけるかもしれないという希望を持っている。敢えて給食施設でなくても、子供たちや保護者に喜ばれるものを、業者と積極的に進めてほしい」などの意見が出された。

幼児センターの保育教諭の募集について

第2回目の常任委員会は、9月7日（火）開催。

案件は、生涯学習課より1点目「幼児センターの保育教諭の募集について」である。

令和2年度末、保育教諭の退職に伴う人員、保育教諭正規職員1名と会計年度任用職員1名を昨年12月より町のホームページや広報紙、さらには浦河のハローワークで継続的に募集しているが、現時点では応募や問い合わせが1件もない状況である。そのためこれまでと同じような募集手段では、何の進展もないと判断。新たな手段として、保育士等の人材派遣を専門的に運営している派遣会社に委託して、人材を確保したい。これに関わる費用は、211万2，000円であり9月町議会に補正で対応したいとの説明。

様似型スクールランチの取り組みについて

生涯学習課の2点目、「様似型スクールランチの取り組み」について説明。最初に取り組みの経過について、さらに7月19日指名型プロポーザル実施、20日結果として、「生活協同組合コープさっぽろ」を実施事業者として決定。

その後、8月16日小・中学校の教職員への説明会実施、8月24日小・中学校の児童・生徒への試食、8月25日～27日小・中学校の保護者説明会、社会文教常任委員会委員への様似型スクールランチの概要や具体的注文方法の説明、その後 試食。尚、現時点のスクーランチ利用申し込みは、小・中学生合わせて225名中202名、教職員40名中38名、児童・生徒と教職員合わせて90．6％の申し込み率との説明。

審議した案件

6月24日
◆様似型スクールランチ事業に係る指名型プロポーザル
9月7日
◆幼児センターの保育教諭の募集
◆「様似型スクールランチ」の取り組み
◆様似町過疎地域持続的発展市町村計画（自令和3年度、至令和7年度）の策定
◆消防庁舎建設
◆新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（事業者支援分）の追加交付

以上、6件について審議。